

平成28年度

仙北市

「全国学力・学習状況調査」

結果分析・改善委員会

報告書

平成28年 12月

I 報告書の作成にあたって

本報告書の作成にあたっては、「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」に則って作成することに特に留意した。

報告書作成の基本的な立場については「第2条（結果の公表）」に基づき、また、その内容については、「第4条（改善策の立案）」の規定に従っている。

（結果の公表）

第2条

仙北市教育委員会は公立学校設置管理者として地域住民及び保護者に対して結果についての説明責任があることから、次のことに配慮しながら本調査の結果を公表する。

- (1) 教科に関する調査結果の数値による公表や、個々の学校名を明らかにした公表など、結果の公表が学校間の序列化や過度な競争につながるような公表は行わないこと
- (2) 本調査の結果から教育及び教育施策の成果と課題を把握しその改善を図る必要があること
- (3) 本調査の結果の分析を踏まえて仙北市教育委員会として今後の改善方策を併せて示す必要があること
- (4) 本調査により測定した学力は特定の一部であること
- (5) 本調査により測定した学力は固定値ではなく変化するものであること

（改善策の立案）

第4条

結果を受けた改善策は仙北市教育委員会北浦教育文化研究所「研究主任部会」及び「算数・数学学習指導研究委員会」、「国語学習指導研究委員会」に改善策の立案に必要な若干名の特別委員を加えた「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果分析・改善委員会」において、次の内容について立案し教育委員会に報告する。

- (1) 主として「知識」に関する問題について、結果に応じてその内容を確実に児童生徒に身に付けさせる方策について
- (2) 主として「活用」に関する問題について、実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価改善する力を身に付けさせるための授業改善のあり方について
- (3) 改善のための仙北市教育委員会の教育施策のあり方について
- (4) その他

以上の点を踏まえて、仙北市教育委員会が仙北市民に対する説明責任を果たし、学校の教育及び教育委員会の教育施策の改善に資することを目的として本報告書を作成した。

Ⅱ 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。

2 実施主体 文部科学省

3 参加主体 市町村教育委員会

4 調査の対象

【小学校調査】

- ・小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年

【中学校調査】

- ・中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

5 調査事項及び手法

(1) 児童生徒に対する調査

① 教科に関する調査〔国語、算数・数学〕

それぞれ「主として『知識』に関する問題」(A)と「主として『活用』に関する問題」(B)を出題。

i) 主として知識に関する問題

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
--

ii) 主として活用に関する問題

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

② 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施

(2) 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施

6 調査の方式 悉皆調査

7 調査期日 平成28年4月19日(火)

8 4月19日に調査を実施した児童生徒数・学校数

小学校児童数	児童数 (人)				
	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	質問紙
全国 (公立)	1,021,905	1,021,635	1,021,910	1,021,637	
秋田県 (公立)	7,435	7,431	7,434	7,431	
仙北市教育委員会	196	196	196	196	196

中学校生徒数	生徒数 (人)				
	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	質問紙
全国 (公立)	996,188	996,365	996,502	996,578	
秋田県 (公立)	7,831	7,828	7,831	7,828	
仙北市教育委員会	165	165	164	164	164

調査実施校数	4月19日に調査を実施した小学校、 特別支援学校小学部	4月19日に調査を実施した中学校、 中等教育学校 特別支援学校中学部
全国 (公立)	19,335校	9,464校
全国 (国立)	74校	77校
全国 (私立)	113校	365校
合計	19,522校	9,906校
仙北市教育委員会	7校	5校

(仙北市の中学校数は後日実施の1校を含む)

Ⅲ 結果

- ※ 本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているが、実施教科が国語、算数・数学の2教科であり、また、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではない。従って、本調査の結果については児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることや、学校等における教育活動の一側面にすぎないことに留意する必要がある。
- ※ 「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」第2条に基づき、教科に関する調査結果の数値による公表は行わない。〈表2〉の階層区分と表現による公表としている。

1 教科に関する調査の結果

(1) 概要

本調査における全国調査校（以下、全国）及び秋田県調査校（以下、秋田県）の平均正答率と仙北市調査校（以下、仙北市）の平均正答率を、小学校6年国語・算数、中学校3年国語・数学のそれぞれ「A：主として知識」及び「B：主として活用」の区分で比較して、その状況が良好であるものを「成果」として、また、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

また、仙北市の状況の中で学年・教科・区分の視点から比較して、その状況が良好であるものを「成果」として、また、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

【成果】

- ① 国及び秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、〈表1〉にあるように、仙北市の小学校6年生の国語A・B、算数A・B、中学校3年生の国語A・B、数学A・Bの学習状況は「概ね満足できる状況」もしくは「十分満足できる状況」である。
- ② 国の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、小学校6年生、中学校3年生ともにほとんどの項目において仙北市が上回っている。
- ③ 仙北市の平均正答率をみると、特に中学校3年生において良好な状況である。

【課題】

- ① 秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、仙北市がほとんどの項目において下回っている。
小学校6年国語「A：主として知識」において、仙北市の平均正答率と秋田県の平均正答率との差が他の項目に比べて大きい傾向にある。
- ② 小学校6年生、中学校3年生ともに、「B：主として活用」問題に比べて、「A：主として知識」問題の方が秋田県の平均正答率の差が大きい。

〈表1〉：全国及び秋田県の平均正答率との比較（教科・問題別）

学年	教科等	区分	平均正答率	仙北市の状況
小学校 6年生	国語A:主として知識	全国(公立)	72.9%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	77.4%	概ね満足できる状況
	国語B:主として活用	全国(公立)	57.8%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	64.0%	概ね満足できる状況
	算数A:主として知識	全国(公立)	77.6%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	82.0%	概ね満足できる状況
算数B:主として活用	全国(公立)	47.2%	概ね満足できる状況	
	秋田県(公立)	51.8%	概ね満足できる状況	
中学校 3年生	国語A:主として知識	全国(公立)	75.6%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	79.1%	概ね満足できる状況
	国語B:主として活用	全国(公立)	66.5%	十分満足できる状況
		秋田県(公立)	72.4%	概ね満足できる状況
	数学A:主として知識	全国(公立)	62.2%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	66.6%	概ね満足できる状況
数学B:主として活用	全国(公立)	44.1%	概ね満足できる状況	
	秋田県(公立)	48.4%	概ね満足できる状況	

※〈表1〉の「仙北市の状況」は、国及び県の平均正答率と比較し、〈表2〉の表現にしたがって示した。

〈表2〉：〈表1〉の「仙北市の状況」に係る階層区分と表現（以下の表同じ）

	階層区分	表現
1	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が+6%以上であるもの	十分満足できる状況
2	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が+5%以下～-5%以上であるもの	概ね満足できる状況
3	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が-6%以下であるもの	改善が必要な状況

※〈表2〉は「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」第3条（別表2）による。

(2) 設問分類・区分別集計結果から

本調査における全国及び秋田県の「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」別の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較して、その状況が良好であるものを「成果」として、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

また、仙北市の状況の中で学年・教科・区分について「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」の視点から、その状況が良好であるものを「成果」として、また、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

【成果】

①〈表3-(1)〉～〈表3-(8)〉にあるように、「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」の視点から、全国の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較してみると、小学校6年、中学校3年ともに国語、算数・数学の全ての項目において、「概ね満足できる状況」あるいは「十分満足できる状況」である。

②同様に全国の平均正答率と仙北市の比較からは以下のことが言える。

ア)「小学校6年国語B」では、「評価の観点」の1区分、「問題形式」の1区分の計2分類のうち、2区分が「十分満足できる状況」である。

イ)「中学校3年国語B」では、8区分のうち、7区分が「十分満足できる状況」である。

ウ)「中学校3年数学B」では、9区分のうち、2区分が「十分満足できる状況」である。

③仙北市の状況の中で小学校6年については以下のことが言える。

ア)「国語」については、「B：主として活用」において「評価の観点」の「国語への関心・意欲・態度」が、「問題形式」の「記述式」が良好な状況である。

④仙北市の状況の中で中学校3年については以下のことが言える。

ア)「国語」については、「B：主として活用」において、「学習指導要領の領域」の「書くこと」「読むこと」が、「評価の観点」の「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」「読む能力」が、「問題形式」の「選択式」「記述式」がそれぞれ良好な状況である。

イ)「数学」については、「B：主として活用」では、「学習指導要領の領域」の「資料の活用」が、「評価の観点」の「数学的な技能」が良好な状況である。

【課題】

①秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」の視点から比較した場合、次のような課題がある。

ア) 小学校6年「国語」「A：主として知識」において「学習指導要領の領域」の「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が、「評価の観点」の「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」が、問題形式の「短答式」が、「改

善が必要な状況」であり課題がある。また、「B：主として活用」において「学習指導要領の領域」の「読むこと」が、「評価の観点」の「読む能力」が、「問題形式」の「記述式」が、「改善が必要な状況」であり課題がある。

イ) 小学校6年「算数」「A：主として知識」において「学習指導要領の領域」の「数量関係」が、また、「B：主として活用」において「評価の観点」の「数量や図形についての技能」が、「問題形式」の「短答式」が、「改善が必要な状況」であり課題がある。

〈表 3 - (1)〉 : 「小学校 6 年国語 A」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導領域	話すこと・聞くこと	1	82.9	79.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書くこと	2	77.8	73.0	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	読むこと	2	81.3	78.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	10	76.0	71.3	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0				
	話す・聞く能力	1	82.9	79.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書く能力	2	77.8	73.0	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	読む能力	2	81.3	78.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	10	76.0	71.3	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
問題形式	選択式	6	81.1	77.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	9	74.9	70.2	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	記述式	0				

〈表 3 - (2)〉 : 「小学校 6 年国語 B」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導領域	話すこと・聞くこと	3	58.2	51.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書くこと	6	60.0	53.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	読むこと	3	76.6	69.5	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0				
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	4	64.1	54.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	話す・聞く能力	3	58.2	51.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書く能力	6	60.0	53.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	読む能力	3	76.6	69.5	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	0				
問題形式	選択式	6	64.0	60.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	0				
	記述式	4	64.1	54.9	改善が必要な状況	十分満足できる状況

〈表 3 - (3)〉 : 「小学校 6 算数 A」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導領域	数と計算	10	84.4	80.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	量と測定	2	82.5	77.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	図形	2	82.3	79.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量関係	3	73.8	68.7	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0				
	数学的な考え方	0				
	数量や図形についての技能	5	87.1	82.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量や図形についての知識・理解	11	79.7	75.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題形式	選択式	5	79.9	75.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	11	83.0	78.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	0				

〈表 3 - (4)〉 : 「小学校 6 算数 B」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導領域	数と計算	6	48.8	44.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	量と測定	5	47.4	43.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	図形	3	38.3	36.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量関係	6	47.2	43.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0				
	数学的な考え方	9	45.9	41.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量や図形についての技能	2	56.5	53.6	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	数量や図形についての知識・理解	2	73.4	69.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題形式	選択式	5	59.9	56.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	3	69.4	66.6	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	記述式	5	33.1	26.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況

〈表3-(5)〉：「中学校3国語A」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導領域	話すこと・聞くこと	6	82.5	79.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書くこと	4	79.6	74.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	読むこと	6	81.8	79.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	76.8	74.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0	/	/	/	/
	話す・聞く能力	6	82.5	79.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書く能力	4	79.6	74.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	読む能力	6	81.8	79.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	17	76.8	74.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題形式	選択式	23	76.3	73.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	10	85.4	80.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	0	/	/	/	/

〈表3-(6)〉：「中学校3年国語B」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導領域	話すこと・聞くこと	0	/	/	/	/
	書くこと	3	65.2	58.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読むこと	9	72.4	67.1	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0	/	/	/	/
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	65.2	58.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	話す・聞く能力	0	/	/	/	/
	書く能力	3	65.2	58.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読む能力	9	72.4	67.1	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	0	/	/	/	/
問題形式	選択式	5	75.7	71.1	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	短答式	1	77.4	71.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	3	65.2	58.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況

〈表 3 - (7)〉 : 「中学校 3 年数学 A」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導領域	数と式	1 2	69.2	66.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	図形	1 2	72.4	67.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	関数	8	56.8	52.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	資料の活用	4	61.3	57.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0				
	数学的な見方や考え方	0				
	数学的な技能	1 9	71.1	67.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量・図形などについての知識・理解	1 7	61.6	57.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題形式	選択式	1 3	61.0	58.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	2 3	69.8	65.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	0				

〈表 3 - (8)〉 : 「中学校 3 年数学 B」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導領域	数と式	6	54.2	52.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	図形	2	36.6	34.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	関数	5	44.4	42.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	資料の活用	2	53.3	39.7	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0				
	数学的な見方や考え方	1 1	41.9	39.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数学的な技能	4	66.4	58.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	数量・図形などについての知識・理解	0				
問題形式	選択式	2	43.2	41.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	6	63.4	58.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	7	37.1	33.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況

(3)各設問の集計結果から

ここでは、仙北市の状況の中で学年・教科・区分について、設問ごとの結果から改善のために検討の余地があるもののうち、特徴的なものについて示す。

①小学校6年「国語」A:主として知識について

ア) 「設問番号3」 「ルールの説明の表現について助言した内容として適切なものを選択する」では、「書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」、「評価の観点」では「書く能力」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号6」 「登場人物の人物像を説明するために、根拠となる表現として適切なものを選択する」では、「登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉える」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「読むこと」、「評価の観点」では「読む能力」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

ウ) 「設問番号8-1、2、3」 「ローマ字を書く、読む」では、「平仮名で表記されたものをローマ字で書く」「ローマ字で表記されたものを正しく読む」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「評価の観点」では「言語についての知識・理解・技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

- ◆ 漢字の読み書きは一定程度身につけていると判断できるが、ローマ字の読み書きについては特に改善すべき課題となっている。特に今回の設問では、濁音や拗音や促音が出題されたことで、課題が明らかになっている。
- ◆ 表現の工夫(例えば、書き出し・引用・事実・意見など)に着目したり、複数の叙述を基にしたりして、文章の特徴や筆者の考えを捉えることについては、改善しなければならない課題となっている。

②小学校6年「国語」B:主として活用について

ア) 「設問番号1三」 「スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く」では、「話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「話すこと・聞くこと」「書くこと」、「評価の観点」では「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号2一」 「『早ね早起き』活動の成果について、<図1>の結果を基に書いた内容として適切なものを選択する」では、「グラフを基に、分かったことを的確に書く」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」、「評価の観点」では「書

く能力」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

- ◆ 目的や展開に応じて文章を書いたり、文章と図・グラフなどを関係付けて自分の考えをまとめたりすることについては改善しなければならない課題がある。

③小学校6年「算数」**「A:主として知識」**について

ア) 「設問番号1(2)」 「 $2.1 \div 0.7$ を、除数が整数になるように工夫して計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く」では、「除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と計算」、「評価の観点」では「数量や図形についての知識・理解」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号2(3)」 「 $18 \div 0.9$ を計算する」では、「小数の除法の計算をすることができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と計算」、「評価の観点」では「数量や図形についての技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

ウ) 「設問番号8」 「テープ全体の長さを基にしたときの赤い部分の長さの割合が、一番大きいものを選ぶ」では、「全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の意味について理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数量関係」、「評価の観点」では「数量や図形についての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

エ) 「設問番号9(2)」 「定員と乗っている人数の割合を、百分率を用いた図に表すとき、当てはまる数値の組み合わせを書く」では、「1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数量関係」、「評価の観点」では「数量や図形についての知識・理解」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

- ◆ 全体的に決まり切った知識については理解が高いが、少し見方を変えた問われ方をされたり、設問の場面の状況を想像したりしなければならない問題に課題がある。
- ◆ 特に2つのものの関係を問われる「割合」を求めることは、それぞれを関係付けて何が基準になるのかを考えることが求められ、改善を要する課題となっている。

④小学校6年「算数」**「B:主として活用」**について

ア) 「設問番号2(1)」 「ハードルとハードルの間が5mのコースの、スタート地点から4台目のハードルを、巻き尺の何mのところには置けばよいか書く」では「ハードルの数とインターバルの数の関係を式に表し、4台目のハードルの位置を求めることができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数量関係」、「評価の観点」では「数

量や図形についての技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号2(2)」 「40mハードル走の目標のタイムを求める式に8.1と4を当てはめて、まなみさん目標のタイムを求める式と答えを書く」では「示された式に数値を当てはめて、目標のタイムを求めることができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と計算」「数量関係」、「評価の観点」では「数量や図形についての技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

ウ) 「設問番号5(1)」 「示された形をつくることができることを説明する式の意味を、数や演算の表す内容に着目して書く」では「示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に式の意味の説明を記述できる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」、「評価の観点」では「数学的な考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

- ◆ 問われていることに答えるために、問われていることが何とどんな関係にあるのか、その状況はどういうことなのか、正確に想像することや物事の関係性を見いだすことに苦手意識があることが課題である。

⑤中学校3年「国語」A:主として知識について

ア) 「設問番号4一」 「答えの文章を直した意図として適切なものを選択する」では、「文章を読み返し、文の使い方などに注意して書く」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」、「評価の観点」では「書く能力」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号7二」 「話を踏まえた発言として適切なものを選択する」では、「互いの発言を検討して自分の考えを広げる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「話すこと・聞くこと」、「評価の観点」では「話す・聞く能力」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

ウ) 「設問番号8二」 「資料集を活用するときの留意点を説明したものとして適切なものを選択する」では、「奥付を使って本についての情報を得る」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「読むこと」、「評価の観点」では「読む能力」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

エ) 「設問番号9一2、9三オ、9五」 「漢字『独創』を書く、『白羽の矢が立つ』を答える、文章を書き直した意図として適切なものを選択する」では、「文脈に即して漢字を正しく書く、語句の意味を理解し文脈の中で適切に使う、文の成分の照応について理解する」に課題がある。

これらの設問は「学習指導要領の領域」では「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「評価の観点」では「言語についての知識・理解・技能」、「問題形式」では「短答式」及び「選択式」に分類・区分される設問である。

- ◆ 話したことや書いてあるものから情報を得て、それを踏まえて（関係付けて）考えを広げたり表現したりすることに課題がある。
- ◆ 文脈に沿って漢字を書いたり、ことわざを使ったり文の成分の照応について、正しく理解し活用することに課題がある。

⑥中学校3年「国語」**「B:主として活用」**について

ア) 「設問番号 2 三」 「宇宙エレベーターについて疑問に思ったことと、それを調べるために必要な本の探し方を書く」では、「課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」「読むこと」、「評価の観点」では「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」「読む能力」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号 3 二」 「物語に書かれている事柄について図鑑の説明から分かることとして適切なものを選択する」では、「目的に応じて必要な情報を読み取る」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「読むこと」、「評価の観点」では「読む能力」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

- ◆ 目的と資料から得た情報とを関連付けて考えた上で、情報を取捨選択し、適切に処理すること、それを基に自分の考えをもつことに課題がある。

⑦中学校3年「数学」**「A:主として知識」**について

ア) 「設問番号 1 (1)」 「 $2 \div 5 \times 0.6$ を計算する」では「分数と小数の乗法ができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と式」、「評価の観点」では「数学的な技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号 1 (2)」 「 -5 、 0 、 1 、 2.5 、 4 の中から自然数を全て選ぶ」では「自然数の意味を理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と式」、「評価の観点」では「数量や図形などについての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

ウ) 「設問番号 3 (2)」 「一元一次方程式 $2x = x + 3$ の解について、正しい記述を選ぶ」では「一元一次方程式の解の意味を理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と式」、「評価の観点」では「数量や図形などについての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

エ) 「設問番号 4 (1)」 「与えられた方法で作図された直線についていえることを選ぶ」では、「垂線の作図の方法について理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「図形」、「評価の観点」では「数量や図形などについての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

オ) 「設問番号9(2)」 「比例 $y = 2x$ について、 x の値が1から4まで増加したときの y の増加量を求める」では、「比例の式について、 x の値の増加に伴う y の増加量を求めることができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「関数」、「評価の観点」では「数学的な技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

- ◆ 基本的な数学の知識・技能について、正しいものを選択したり、解を求めたりする問題に課題がある。

⑧中学校3年「数学」 「B:主として活用」について

ア) 「設問番号3(2)」 「B車の使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、グラフの傾きが表すものを選ぶ」では「グラフの傾きを事象に即して解釈することができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「関数」、「評価の観点」では「数学的な見方や考え方」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号3(3)」 「A車とB車について、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する」では「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「関数」、「評価の観点」では「数学的な見方や考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

ウ) 「設問番号4(1)」 「2つの辺の長さが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する」では、「筋道を立てて考え、証明することができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「図形」、「評価の観点」では「数学的な見方や考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

エ) 「設問番号6(2)」 「文字を使って手順通りに求めた数から最初に決めた数を当てる方法を説明する」では、「与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と式」、「評価の観点」では「数学的な見方や考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

- ◆ 具体的な事象を数学的な考え方に照らし合わせて想像したり考えたりすることに課題がある。

2 児童生徒質問紙調査の結果

(1) 概要

本調査における児童生徒質問紙調査について、仙北市の特に顕著な傾向がみられるものについて示す。
 全国及び秋田県の状況と比較した場合、仙北市の小学校6年生と中学校3年生は、若干の課題はみられるものの、全体としては望ましい傾向にあると言える。

特に「学習に対する意欲・学習の有用感」「規範意識・礼儀・思いやり・他者意識」「基本的生活習慣・基本的学習習慣」に望ましい傾向があるといえる。

(2) 小学校6年生にみられる望ましい傾向

※ 「肯定的回答」の値が高い質問

小学校6年生の質問事項85項目に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の占める割合を合計した割合）が、90%を超えた質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	仙北市児童の肯定的な回答率90%以上
1	(42)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	99.0
2	(43)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	99.0
3	(70)	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	99.0
4	(81)	今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	99.0
5	(28)	学校で、好きな授業がありますか	98.9
6	(22)	家で、学校の宿題をしていますか	98.5
7	(40)	友達との約束を守っていますか	98.0
8	(53)	5年生までに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	98.0
9	(77)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	98.0
10	(4)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	97.9

11	(72)	算数の勉強は大切だと思いますか	97.9
12	(1)	朝食を毎日食べていますか	97.0
13	(27)	学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか	96.9
14	(55)	5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	96.9
15	(9)	将来の夢や目標を持っていますか	96.4
16	(45)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	96.4
17	(8)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	95.9
18	(39)	学校のきまりを守っていますか	95.9
19	(62)	国語の勉強は大切だと思いますか	95.9
20	(31)	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	95.4
21	(65)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	95.4
22	(29)	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思いますか	94.4
23	(48)	5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	93.9
24	(49)	5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	93.9
25	(84)	調査問題の解答時間は十分でしたか(算数A)	93.9
26	(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.4
27	(80)	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	93.4
28	(44)	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	92.9
29	(26)	学校に行くのは楽しいと思いますか	92.8
30	(24)	家で、学校の授業の復習をしていますか	92.3
31	(41)	人が困っているときは、進んで助けていますか	91.4

32	(82)	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)	91.3
33	(69)	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいますか	90.3
34	(78)	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	90.3

※ 全国との比較から

児童質問紙調査のうち、全国の小学校6年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校6年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+10ポイント以上のものは次の表のとおりである。(県との割合との差は参考のために示した。)

NO	質問番号	質問事項	全国との比較 +10%以上	秋田県との比較
1	(24)	家で、学校の授業の復習をしていますか	37.1	1.3
2	(36)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	23.0	9.5
3	(30)	学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか	22.5	1.7
4	(46)	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	19.8	1.8
5	(23)	家で、学校の授業の予習をしていますか	19.5	3.3
6	(34)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	18.8	3.8
7	(66)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	16.2	1.4
8	(44)	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	15.7	7.1
9	(21)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	15.3	-2.9
10	(67)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	14.2	0.7
11	(74)	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	14.0	6.0
12	(61)	国語の勉強は好きですか	13.7	3.2

13	(76)	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	13.3	-0.6
14	(45)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	13.2	4.4
15	(29)	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか	12.6	2.2
16	(51)	5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか	12.2	2.2
17	(69)	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	12.2	3.1
18	(35)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	12.1	1.9
19	(50)	5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	11.5	-1.6
20	(52)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	11.3	-0.6
21	(9)	将来の夢や目標を持っていますか	11.1	4.6
22	(71)	算数の勉強は好きですか	11.0	2.4
23	(59)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	10.8	-0.6
24	(47)	5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか	10.5	0.7
25	(49)	5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	10.5	1.3
26	(53)	5年生までに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	10.4	2.2
27	(68)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	10.2	0.0

※ 秋田県との比較から

児童質問紙調査のうち、秋田県の小学校6年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校6年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+3ポイント以上のものは次の表のとおりである。

NO	質問 番号	質問事項	秋田県との比 較 +3%以上
1	(36)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	9.5
2	(44)	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	7.1
3	(74)	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	6.0
4	(85)	調査問題の解答時間は十分でしたか(算数B)	5.4
5	(9)	将来の夢や目標を持っていますか	4.6
6	(45)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	4.4
7	(34)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	3.8
8	(37)	新聞を読んでいますか	3.4
9	(23)	家で、学校の授業の予習をしていますか	3.3
10	(61)	国語の勉強は好きですか	3.2
11	(77)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	3.2
12	(69)	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいますか	3.1
13	(73)	算数の授業の内容はよく分かりますか	3.0

(3) 小学校6年生にみられる課題とされる傾向

※ 「肯定的回答」の値が低い質問

小学校6年生の質問事項85項目に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の占める割合を合計した割合）が、75%未満の質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	仙北市児童の肯定的な回答率75%未満
1	(57)	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	28.6
2	(37)	新聞を読んでいますか	31.7
3	(58)	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	47.4
4	(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	56.6
5	(23)	家で、学校の授業の予習をしていますか	62.8
6	(85)	調査問題の解答時間は十分でしたか(算数B)	62.8
7	(25)	家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	65.8
8	(61)	国語の勉強は好きですか	72.0
9	(19)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	73.0

※ 全国との比較から

児童質問紙調査のうち、全国の小学校6年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校6年生の肯定的回答の割合を比較して、差が-3ポイントを下回るものは次の表のとおりである。(県との割合との差は参考のために示した。)

NO	質問番号	質問事項	全国との比較 -3%以下	秋田県との比較
1	(57)	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	-11.0	-8.1
2	(19)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	-6.2	-8.5

※ 秋田県との比較から

児童質問紙調査のうち、秋田県の小学校6年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校6年生の肯定的回答の割合を比較して、差が-3ポイントを下回るものは次の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	秋田県との比較 -3%以下
1	(25)	家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	-8.9
2	(19)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	-8.5
3	(57)	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	-8.1
4	(33)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださいか	-4.0
5	(56)	5年生までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	-3.9
6	(79)	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	-3.1

(4) 中学校3年生にみられる望ましい傾向

※ 「肯定的回答」の値が高い質問

中学校3年生の質問事項85項目に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の占める割合を合計した割合）が、90%を超えた質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	仙北市生徒の肯定的な回答率90%以上
1	(40)	友達との約束を守っていますか	100.0
2	(70)	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	100.0
3	(8)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	98.8
4	(42)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.8
5	(53)	1,2年生のときに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	98.8
6	(81)	今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	98.8
7	(4)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	98.2
8	(55)	1,2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	98.2
9	(80)	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	98.2
10	(39)	学校の規則を守っていますか	98.1
11	(43)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	98.1
12	(22)	家で、学校の宿題をしていますか	97.6
13	(27)	学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか	97.5
14	(1)	朝食を毎日食べていますか	97.0
15	(62)	国語の勉強は大切だと思いますか	96.9
16	(82)	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)	96.9

17	(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	96.3
18	(31)	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	95.8
19	(49)	1, 2年生のときに受けた授業では、生徒の間に話し合う活動をよく行っていたと思いますか	95.7
20	(74)	数学ができるようになりたいと思いますか	95.7
21	(29)	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っで学級のきまりなどを決めていると思いますか	95.1
22	(65)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	95.1
23	(48)	1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	94.5
24	(26)	学校に行くのは楽しいと思いますか	93.9
25	(41)	人が困っているときは、進んで助けていますか	93.9
26	(45)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	93.9
27	(84)	調査問題の解答時間は十分でしたか(数学A)	93.3
28	(28)	学校で、好きな授業がありますか	92.7
29	(38)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	92.1
30	(32)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	91.5
31	(44)	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	91.4
32	(24)	家で、学校の授業の復習をしていますか	90.9
33	(51)	1, 2年生のときに受けた授業で、生徒の間に話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか	90.3
34	(47)	1, 2年生のときに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか	90.2
35	(72)	数学の勉強は大切だと思いますか	90.2

※ 全国との比較から

生徒質問紙調査のうち、全国の中学校3年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校3年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+10ポイント以上のものは次の表のとおりである。(県との割合との差は参考のために示した。)

NO	質問番号	質問事項	全国との比較 +10%以上	秋田県との比較
1	(24)	家で、学校の授業の復習をしていますか	39.9	3.4
2	(34)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	32.8	23.0
3	(46)	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	27.0	-0.3
4	(66)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	25.6	5.4
5	(54)	1, 2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	24.7	-0.1
6	(21)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	23.5	4.7
7	(30)	学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか	23.3	3.8
8	(44)	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	23.1	7.2
9	(67)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	22.6	4.9
10	(55)	1, 2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	21.4	3.2
11	(45)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	21.1	5.4
12	(59)	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	21.1	6.9
13	(68)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	20.5	5.2
14	(52)	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	20.3	4.3

15	(50)	1, 2年生のときに受けた授業では, 学級やグループの中で自分たちで課題を立てて, その解決に向けて情報を集め, 話し合いながら整理して, 発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	19.1	2.2
16	(79)	数学の授業で公式やきまりを習うとき, その根拠を理解するようにしていますか	18.7	6.6
17	(49)	1, 2年生のときに受けた授業では, 生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	17.9	2.6
18	(51)	1, 2年生のときに受けた授業で, 生徒の間で話し合う活動では, 話し合う内容を理解して, 相手の考えを最後まで聞き, 自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか	17.9	4.0
19	(69)	国語の授業で文章を読むとき, 段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	17.7	4.8
20	(35)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	17.1	5.4
21	(80)	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	17.1	9.7
22	(78)	数学の授業で問題を解くとき, もっと簡単に解く方法がないか考えますか	16.9	8.7
23	(6)	自分には, よいところがあると思いますか	16.7	5.5
24	(29)	あなたの学級では, 学級会などの時間に友達同士で話し合っ て学級のきまりなどを決めていると思いますか	16.7	5.5
25	(47)	1, 2年生のときに受けた授業では, 先生から示される課題や, 学級やグループの中で, 自分たちで立てた課題に対して, 自ら 考え, 自分から取り組んでいたと思いますか	16.4	3.2
26	(5)	難しいことでも, 失敗を恐れなくて挑戦していますか	15.8	6.0
27	(61)	国語の勉強は好きですか	15.8	2.0
28	(33)	先生は, 授業やテストで間違えたところや, 理解していないところ について, 分かるまで教えてくれますか	14.9	1.9
29	(37)	新聞を読んでいますか	14.0	5.9
30	(53)	1, 2年生のときに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が 示されていたと思いますか	13.9	1.3
31	(76)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できない か考えますか	13.6	0.4
32	(32)	先生は, あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	13.5	3.3

33	(58)	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	13.5	11.1
34	(77)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	13.2	3.4
35	(56)	1, 2年生のときに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	13.1	-3.3
36	(28)	学校で、好きな授業がありますか	12.6	2.3
37	(19)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	12.5	6.5
38	(26)	学校に行くのは楽しいと思いますか	12.5	7.6
39	(63)	国語の授業の内容はよく分かりますか	12.5	2.1
40	(64)	読書は好きですか	12.4	2.4
41	(9)	将来の夢や目標を持っていますか	11.8	1.5
42	(31)	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	11.6	3.7
43	(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	11.4	8.4
44	(65)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	10.5	2.3
45	(48)	1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	10.4	0.1
46	(75)	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	10.2	2.9
47	(41)	人が困っているときは、進んで助けていますか	10.1	3.9

※ 秋田県との比較から

生徒質問紙調査のうち、秋田県の中学校3年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校3年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+3ポイント以上のものは次の表のとおりである。

NO	質問 番号	質問事項	秋田県との比 較 +3%以上
1	(34)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	23.0
2	(58)	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	11.1
3	(80)	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	9.7
4	(78)	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	8.7
5	(57)	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	8.6
6	(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	8.4
7	(26)	学校に行くのは楽しいと思いますか	7.6
8	(44)	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	7.2
9	(59)	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	6.9
10	(79)	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	6.6
11	(19)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	6.5
12	(83)	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)	6.4
38	(5)	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	6.0
13	(37)	新聞を読んでいますか	5.9
14	(20)	家の手伝いをしていますか	5.8
15	(85)	調査問題の解答時間は十分でしたか(数学B)	5.7
16	(6)	自分には、よいところがあると思いますか	5.5
17	(29)	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思いますか	5.5

18	(35)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	5.4
19	(45)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	5.4
20	(66)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	5.4
21	(68)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	5.2
22	(67)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	4.9
23	(69)	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいますか	4.8
24	(21)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	4.7
25	(73)	数学の授業の内容はよく分かりますか	4.4
26	(52)	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	4.3
27	(25)	家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	4.0
28	(51)	1, 2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかり伝えていたと思いますか	4.0
29	(41)	人が困っているときは、進んで助けていますか	3.9
30	(84)	調査問題の解答時間は十分でしたか(数学A)	3.9
31	(30)	学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか	3.8
32	(31)	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	3.7
33	(24)	家で、学校の授業の復習をしていますか	3.4
34	(77)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	3.4
35	(32)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	3.3
36	(47)	1, 2年生のときに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り	3.2

		組んでいたと思いますか	
37	(55)	1, 2年生のときに受けた授業で扱うノートには, 学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	3.2

(5) 中学校3年生にみられる課題とされる傾向

※ 「肯定的回答」の値が低い質問

中学校3年生の質問事項に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合(質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の占める割合を合計した割合)が、75%未満の質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	仙北市生徒の肯定的な回答率75%未満
1	(23)	家で, 学校の授業の予習をしていますか	26.8
2	(37)	新聞を読んでいますか	32.3
3	(58)	学校の授業などで, 自分の考えを他の人に説明したり, 文章に書いたりすることは難しいと思いますか	49.3
4	(85)	調査問題の解答時間は十分でしたか(数学B)	55.5
5	(76)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	55.5
6	(57)	400字詰め原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	56.1
7	(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	61.6
8	(71)	数学の勉強は好きですか	62.8
9	(21)	家で, 自分で計画を立てて勉強をしていますか	71.9
10	(20)	家の手伝いをしていますか	73.1

※ 全国との比較から

生徒質問紙調査のうち、全国の中学校3年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校3年生の肯定的回答の割合を比較して、差が-3ポイントを下回るものは次の表のとおりである。(県との割合との差は参考のために示した。)

NO	質問番号	質問事項	全国との比較 -3%以下	秋田県との比較
1	(23)	家で、学校の授業の予習をしていますか	-15.8	-7.4
2	(85)	調査問題の解答時間は十分でしたか(数学B)	-7.4	5.7

※ 秋田県との比較から

生徒質問紙調査のうち、秋田県の中学校3年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校3年生の肯定的回答の割合を比較して、差が-3ポイント以下を下回るものは次の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	秋田県との比較
1	(23)	家で、学校の授業の予習をしていますか	-7.4
2	(56)	1, 2年生のときに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	-3.3

Ⅳ 改善の方法

1 全体的な取組として

本委員会では、仙北市全体の状況を踏まえて、一層の確かな学力の向上と授業改善の方向性について、現在仙北市内の各学校で取り組んでいる改善策をもとに意見交換を行った。

教科に関する本調査の結果で、仙北市の課題として捉えられ改善のために検討の余地があるもののうちでも特徴的なものを見たとき、仙北市児童生徒の課題は次のように集約することができる。国語に関しては、新たにローマ字の表記を理解しているかが課題として明らかになった。また、ことわざ・慣用句等を知識として身に付けていることを踏まえ、日常の言語生活において用いることや文脈の中や場面に応じて言葉を適切に用いているかが引き続き課題として挙げられる。また、多様な情報を関連付けて読み取り、目的や意図に応じて自分の考えを書きまとめることも課題として挙げられる。算数・数学に関しては、具体的な事象を想像し数学的な説明と結び付けて、数学的な表現によって説明することに引き続き課題がある。

これらの現状を踏まえ、昨年度と同様の視点を中心に改善策を話し合った。「1 授業改善について」は5つの視点から、「2 全校体制の取組について」は学校種毎に3つの視点から、さらに「3 家庭や地域と連携した取組について」の視点から、今後の仙北市立の各学校が現状を改善していくために共通理解の上で共通実践すべき方策を以下に示すこととする。

1 授業改善の視点から

- (1) 育てたい力を明確にした授業を構築するために
- (2) 児童生徒の学習意欲を高めるために
- (3) 思考力・判断力・表現力等の育成に向けた言語活動を充実させるために
- (4) 児童・生徒の「問い」を引き出し、学習活動に生かすために
- (5) 基礎・基本の定着と個に応じた指導の一層の充実を図るために

以上の5つの視点をもって「小学校国語部会」「中学校国語部会」「小学校算数部会」「中学校数学部会」の各部会で話し合った。そこで、各校の実践状況の情報交換及び「これからの共通実践事項」を確認し合ったものが次の通りである。

[見通しをもつこと]

児童・生徒が見通しをもって学習に取り組んでいけるように、単元や授業時の導入において、学習課題及び学習計画を一人一人が確実に把握できるように工夫する。

単元及び授業において、児童・生徒自身がそこで身に付けたい力を意識できるようにする。

それぞれの学習活動や学習形態等に必要感をもたせる。

[思考力・判断力・表現力の向上]

- 思考を深める学習を構築するために、課題探求型の授業構成に取り組む。
- 児童・生徒が主体的・意欲的に学習に取り組むよう、教師側が必要な工夫をする。
- それぞれの教科における学習用語を身に付け、それらを用いた説明が論理的に行える姿を目指し、授業改善を進める。

[基礎的・基本的知識・技能]

- 基礎的・基本的な計算力の向上を図る授業展開の工夫をする。
- T Tによる習熟度別学習に取り組むことも個に応じた指導には有効な手立てとなる。

2 全校体制の取組の視点から

各学校がそれぞれの課題を見極め、全校体制でその解決に臨んでいくために、「研究主任部会」では次の視点を中心に、学校種ごと・地区ごとに分かれて話し合いを行った。

(1) 小学校の視点

- ・児童が自信をもって発言・発表ができたり、話し合いを深めていったりできるようになるために、どんな改善ができるか。
 - ・個に応じた発展学習をどのように取り入れていけるか。
-
- 個々の児童が自分の考えをもつことができるように、考える視点を明確にする。
 - 解決の見通しをもつために、全体やグループでの話し合いを効果的に取り入れる。
 - 「考えるために書く」、書く活動を効果的に取り入れる。
 - 話型の提示をし、困った時に参考にできるようにする。
 - 「まちがってもいい、大丈夫」または「まちがってくれてありがとう」と思える学級集団の雰囲気づくりを行う。
 - 学級活動を中心に「話し合う」土壌を育てていく。学級会ノートを活用し、書いたり発表したりする機会を増やす。
 - 思考ツールを活用して、思考を広げたり深めたりできるように工夫する。
 - 児童自身が自分と向き合い、じっくり考え、自分自身と対話する時間を確保することも必要である。

(2) 中学校の視点

- ・学校図書館を活用した授業に取り組んでいくには、どうすればよいか。
 - ・教科を超えて研修を進めていくには、どうすればよいか。
-
- 学校図書館を活用できる機会や学習を位置付けて取り組む。
 - インターネットや本等の長所と短所を理解し、場や機会に応じて活用する力を育てる。
 - 教科を超えて全校体制で研修を進めるために、年度当初に研究の方向性を明確に提示

し、共通理解を図り、研究主任を中心に研究体制を確立させる。

- 教科を超えて実践できる視点を設け、共通実践事項を設定し、P D C Aサイクルに基づいて、常に見直し、検証・改善していく。

(3) 小・中の連携について（9年間の系統性・連続性）

- 仙北市の教育研究大会等の機会を利用して、小中の各教師が、お互いの授業を見合い、協議・研修する機会を増やす。特に、中学校は、小学校での丁寧かつ細やかな授業を参観し、9年間の系統性を意識するようにする。
- 校務分掌ごと（特に、研究主任、生徒指導主事）の小中の連携を密にし、児童生徒の実態等の具体例を踏まえながら研修を進める。
- 全国学力・学習状況調査、秋田県学習状況調査等の学力調査結果を小中が共有し、9年間の系統的な指導の成果と課題を明らかにする。
- 児童会・生徒会同士つながりを持ち、家庭学習への取組、学習規律の情報交換、アウトメディア、挨拶運動等ともに取り組んでいくことができるものを「子どもサミット」で取り上げたり、中学校区ごとに活動に取り組んだりしていく。
- 中学校の学校行事や授業への小学生の参加、中学校教師が小学校へ出向いての授業等、特に中学校区内の小中連携をさらに進めていき、小中間の意識の垣根を低くしていく。

3 家庭や地域と連携した取組について

連携のための礎は相互理解である。仙北市、市教育委員会、各学校からの発信が家庭や地域と連携した取組を支えている。

家庭や地域と連携した取組の方策を以下に示すこととする。

- 地域・家庭に対し、学校や教師の営みを発信するのみならず、秋田県「ふるさと学習」の実践の視点からも児童生徒が地域で活動・活躍する機会を多く設定する。児童生徒による地域貢献活動をさらに推進・支援していく。
- 9年間を見通した「学びの手引き」の作成を継続し、小中学校で児童生徒・家庭に配布する。家庭や地域に小中学校の営みが9年間の系統性を重視していること、小中学校が隔てなく児童生徒とともに活動していることを理解していただくようにする。
- 「早寝・早起き・朝ご飯の奨励」「スマホ、PCの使い方・アウトメディアへの取組」「ニュースや社会に関心をもつこと」等、家庭が取組の主体となることに、学校と保護者が同じスタンスで取り組めるように、学校報、学年・学級報等を活用して理解と協力体制を作っていく。
- 子どもへの関わり方について、また、学校教育活動についての啓発活動を促進する。

2 学年・教科・区分・各設問ごとの具体的な改善の方策

学年・教科・区分について各設問ごとの結果から改善のために検討の余地があるものについては、次の資料の活用を充実させる必要がある。

- 「平成28年度学校改善支援プラン」〈平成28年3月 秋田県検証改善委員会〉
- 「平成28年度 全国学力・学習状況調査【小学校国語】報告書」
- 「平成28年度 全国学力・学習状況調査【小学校算数】報告書」
- 「平成28年度 全国学力・学習状況調査【小学校理科】報告書」
- 「平成28年度 全国学力・学習状況調査【中学校国語】報告書」
- 「平成28年度 全国学力・学習状況調査【中学校数学】報告書」
- 「平成28年度 全国学力・学習状況調査【中学校理科】報告書」
- 「平成28年度 全国学力・学習状況調査【質問紙調査】報告書」
〈平成28年12月 文部科学省 国立教育政策研究所〉
- 「平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例」
【小学校国語・算数・理科】
【中学校国語・数学・理科】
〈平成27年9月 国立教育政策研究所教育課程研究センター〉
- 「全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ～児童生徒への学習指導の改善・充実に向けて～」
【小学校編】 〈平成24年9月 文部科学省
国立教育政策研究所教育課程研究センター〉
【中学校編】 〈平成24年9月 文部科学省
国立教育政策研究所教育課程研究センター〉
- 「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力・判断力・表現力の育成に向けて～」
【小学校版】 〈平成22年12月 文部科学省〉
【中学校版】 〈平成23年 5月 文部科学省〉
- 「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（小学校・各教科）」
〈平成23年11月 国立教育政策研究所教育課程研究センター〉
- 「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（中学校・各教科）」
〈平成23年11月 国立教育政策研究所教育課程研究センター〉

3 改善のための仙北市教育委員会の教育施策のあり方について

1 地域の人材活用と財政的支援

仙北市教育委員会は学校における地域人材等の活用及び特色ある取組について、一層の支援を行う必要がある。

本市教委では平成20年度から「学校教育バックアップ事業」を開始し、市内の各小・中学校で教育支援活動をしている地域住民を「バックアップチーム」として登録し支援している。今後も小・中学校において、授業場面での活用や授業サポートとしての活用を行い、事業を充実させていく。

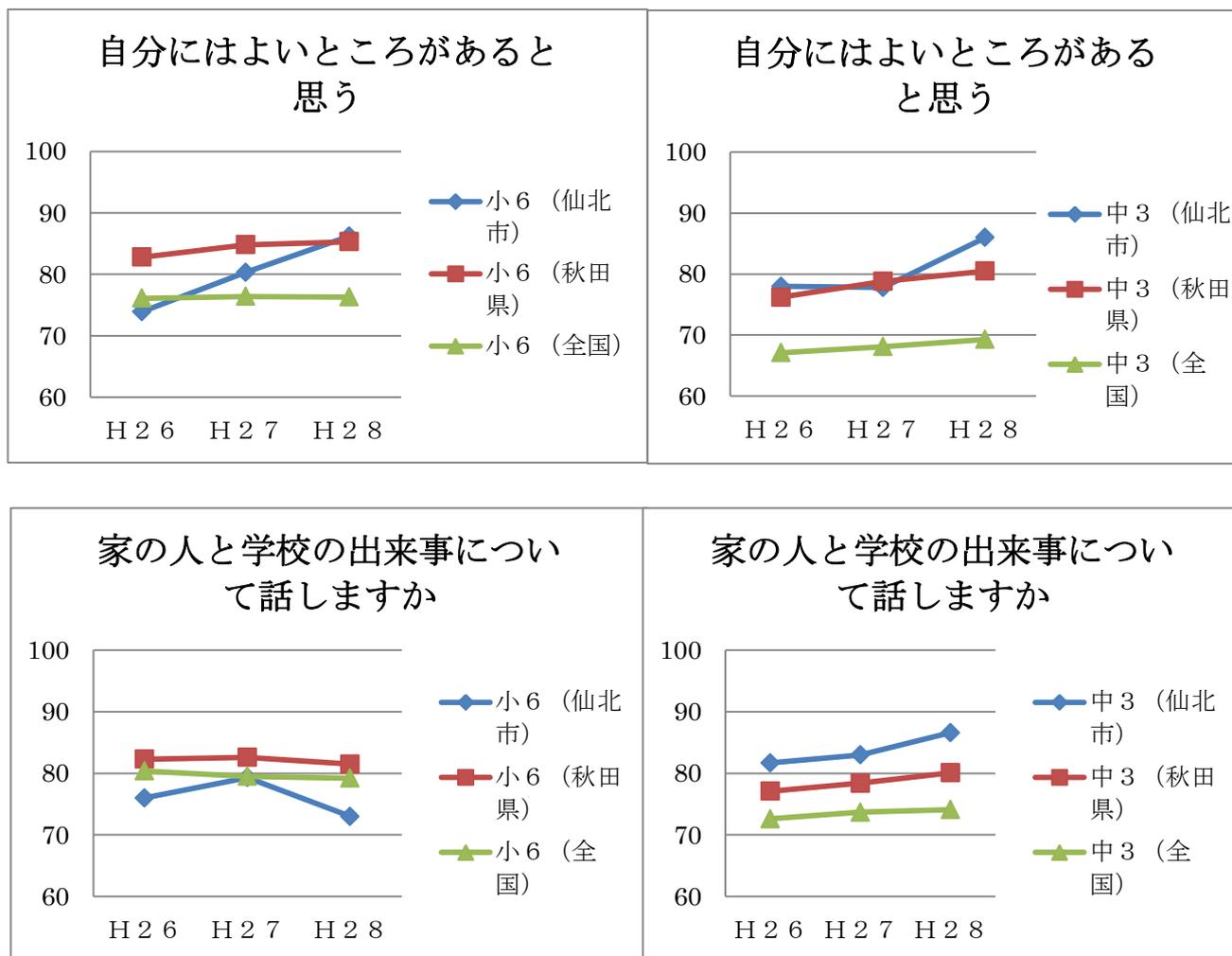
また、平成25年度からは、各学校の特色ある「ふるさと教育・キャリア教育を推進する取組」や教材の充実に対し一層の財政的な支援も実施している。平成26年8月には「キャリア教育の視点を重視したふるさと教育」指導資料として冊子「ふるさと仙北学」を発行、各校に配布した。平成27年12月同冊子を増刷し、各校に配布した。ふるさと教育を基盤とした取組の充実が児童・生徒の生きる力、地域社会における自己有用感の育成につながるようさらに働きかけていく。

2 北浦教育文化研究所研究委員会の充実について

上記IV-2の各種資料については、各学校の研修における活用とともに、研究委員会での研修内容として取り組むことが必要と考える。研究委員会の組織の見直しと併せ、各校の充実した取組に効果のある研究委員会の開催を目指す。

4 学校・家庭・地域の一層の連携

次に直近3年間の経年変化を表した4葉のグラフを示す。



上のグラフは質問紙から、「自己有用感」について問われたものであり、下のグラフは「家庭内における児童生徒の家族との会話の状況」について問われたものである（左が児童質問紙によるグラフ、右は生徒質問紙によるグラフ）。

児童・生徒のグラフを各々上下で比較すると、中学校3年生においては前回に引き続き、その変化が近似の形を持ったグラフとなっていることが読み取れる。小学校6年生については自己有用感が高まりを示すが家庭内での会話は減少している。この二つの間には相応の関係があると考えていたが、一概には言い切れない結果となった。

確かな学力の向上のためには、児童生徒が安心して自己有用感を育める環境が必要であると考える。また、「基本的生活習慣」や「基本的学習習慣」の基盤の上に「学びのサイクルの習慣化」が必要である。「学びのサイクルの習慣化」とは、授業を核として、授業日の

家庭学習や長期休業中の学習、学校の始業前や放課後の学習が有機的に結び付けられ、関連し合っって児童生徒の学びが習慣化されていくことである。そのためには、学校・家庭・地域が「目標・ねらい」を一つにした一層の連携が必要である。

家庭では子どもの基本的な生活習慣や学習習慣などに関心を持ち、子どものよき成長を願い、学校と協力して家庭教育を充実させていこうとする姿勢が望まれる。放課後におけるスポーツ活動や部活動との関係もあるが、児童生徒が就寝までの限られた時間の中で、家族の一員としての役割を果たし、家族とのコミュニケーションを意義あるものにしながら学習時間を確保できるようにしたいものである。

仙北市の子どもたちが地域に対する愛着が深く、地域生活において多くの望ましい傾向がみられることは、地域住民の支えが大きく影響していると考えられる。この点からも、これまで以上に学校・家庭・地域の連携を一層深め、望ましい地域社会の発展とともに温かな家庭環境や居心地のよい学校・教育環境が育まれていくようにと考える。

平成28年度 仙北市「全国学力・学習状況調査」結果分析・改善委員会名簿

	委員氏名	備考
1	高橋 ひろみ	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員(角館小学校)
2	高橋 郁子	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員(中川小学校)
3	鈴木 操	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員(白岩小学校)
4	藤峰 芳子	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員(生保内小学校)
5	佐藤 真弓	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員(神代小学校)
6	草薨 真智子	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員(西明寺小学校)
7	木村 聡	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員(桧木内小学校)
8	山口 晃正	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員(角館中学校)
9	佐藤 公則	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員(生保内中学校)
10	新田 目雅行	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員(神代中学校)
11	後藤 春子	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員(西明寺中学校)
12	須田 真里	北浦教育文化研究所 国語学習指導研究委員(桧木内中学校)
13	三浦 浩樹	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員(角館小学校)
14	千葉 仁	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員(中川小学校)
15	佐々木 玲子	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員(白岩小学校)
16	鎌田 真寿美	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員(生保内小学校)
17	伊藤 優	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員(神代小学校)
18	小松 信市	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員(西明寺小学校)
19	伊藤 里実	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員(桧木内小学校)
20	三浦 誠	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員(角館中学校)
21	阿部 匠	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員(生保内中学校)
22	藤田 千秋	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員(神代中学校)
23	戸澤 聖子	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員(西明寺中学校)
24	高橋 範幸	北浦教育文化研究所 算数・数学学習指導研究委員(桧木内中学校)
25	佐藤 真理子	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員(角館小学校)
26	高橋 郁子	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員(中川小学校)
27	佐々木 玲子	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員(白岩小学校)
28	藤原 薫	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員(生保内小学校)
29	木元 俊子	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員(神代小学校)
30	草薨 真智子	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員(西明寺小学校)
31	伊藤 里実	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員(桧木内小学校)
32	奈良 淳一	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員(角館中学校)
33	武藤 洋史	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員(生保内中学校)
34	今野 浩樹	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員(神代中学校)
35	松本 道男	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員(西明寺中学校)
36	高橋 範幸	北浦教育文化研究所 研究主任部会研究委員(桧木内中学校)
37	浦山 英一郎	北浦教育文化研究所 研究委員
38	米澤 孝子	北浦教育文化研究所 研究委員
39	鈴木 徹	北浦教育文化研究所 研究委員